



近畿自然歩道 49 あまの 天野の里を訪ねるみち

交通情報

- ▼起点：南海高野線九度山駅（九度山町九度山）
- ・運行頻度：1日20本以上
- ・南海橋本駅
TEL：0736-32-2310
- ▼終点：御所バス停（かつらぎ町御所）
- ・運行頻度：1日10本以下
- ・かつらぎ町コミュニティバス
TEL：0736-22-0300



注意事項

- ▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
- ▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
- ▼ゴミ・あき缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。
- ▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。
- ▼山岳地コースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
- ▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
- ▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。



1 真田庵

正式には吾名称院という。真田昌幸・幸村父子の隠棲の屋敷跡として県の史跡に指定されている。真田昌幸の墓のほかと謝黒田の包碑がある。



2 真田地主大権現

真田昌幸の霊を鎮めるため、この地の守護神として祀ったものといわれる。ほかにも比沙門天や真田家三代の霊を合祀している。



3 慈尊院

本尊の弥勒菩薩の別名を「慈尊」と呼ぶことからこの名で呼ばれる。弘法大師の母の霊を祀っており、本来女人禁制の高野山に対し「女人高野」とも呼ばれる。



4 丹生官省符神社

弘法大師が創建。丹生都比売・高野御子大神の2神を祀り、後に厳島・氣比の2神を、さらに天照、八幡、春日の3神を合祀し「七社明神」と呼ばれた。



5 勝利寺

弘法大師が創建。仁王門をくぐると正面に本堂、その右に地藏堂、鐘楼、左に大師堂などがある。勝負事について必勝を祈願する寺として知られている。



6 紙の遊苑

弘法大師が伝授したといわれる手すき紙「高野紙」を用いた様々な和紙工芸品が展示されている。



7 和歌山県朝日夕陽百選

展望台周辺から望む日の出が紀ノ川と周辺市街地を照らす。紀ノ川平野の東には奈良県・三重県境の高見山、その東南には高野山の山並みが間近に見える。



写真手前から左へ。



写真手前から左へ。

- 文学の里
- 10 西行堂
- 8 丹生都比売神社
- 9 西行妻娘宝篋印塔 / 鬼王の墓
- 11 横笛の恋塚
- 八幡神社
- 延命寺
- 12 柳沢明神

行程図



8 丹生都比売神社

日本全国の丹生都比売神を祀る神社の総本社。弘法大師は、この神社から社地を借り受け高野山を開山したため、古来から高野山の鎮守社として知られている。



9 西行妻娘宝篋印塔

2基の宝篋印塔は、西行の妻と娘を供養した碑で県の指定文化財。また、裏側にある五輪は、曾我兄弟の郎党、鬼王団三郎を供養した碑とされる。



10 西行堂

鎌倉時代の歌人西行法師が出家して構えた庵。後に妻と娘も天野の里で尼となる。親子をしのんだ里人により庵は再建を繰り返しながら守られてきた。



11 横笛の恋塚

平家の武将齋藤茂頼（瀧口入道）を慕い、悲恋のうちに亡くなった女官「横笛」を弔う塚。二人の恋は「平家物語」に記され、小説「瀧口入道」にも描かれた。



12 柳沢明神

大きな柳があったことからそう呼ばれたという。弘法大師と丹生明神の出会いの場といわれており、高野山より堅義の神として大切にされてきた。

凡例

- トイレ
- 水場
- 休憩所
- 売店
- 公共電話
- 駐車場
- バス停
- 駅

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL：073-441-2779
FAX：073-433-3590
メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp